

# 長野工場 CSRレポート

**事業内容:** 油圧ホース金具、自動車用ホース金具、セルフシールカップリング組み立て

**敷地面積:** 28,169m<sup>2</sup>

**従業員数:** 211人 (2012年12月現在)

**所在地:** 長野県下伊那郡高森町吉田548

**相談・苦情などの受付窓口:**

TEL: 0265-35-3211 FAX: 0265-35-6884



## 工場長ご挨拶



前沢 昇

南アルプスと中央アルプスに囲まれた自然豊かな長野県高森町に、1961年に設立された横浜ゴム(株)唯一の金属製品加工工場です。多軸自動盤、NC旋盤をはじめとする工作機械を備え、油圧ホース金具、自動車用ホース金具、セルフシールカップリング組み立てを主力生産品目とし、国内外の系列工場への供給と、全国のお客さまへ製品供給させていただいております。長野県の豊かな自然と融合した事業所運営を目指し、当社の「環境GD100」で掲げている「トップレベルの環境貢献企業」の達成に向け、金属製品加工に伴う切削屑の完全リサイクル化、工法改善による切粉屑の削減および産業廃棄物の削減活動に取り組んでいます。2012年7月には金属屑を「ブリケット化」する設備を導入し、製品として販売を行うことで産業廃棄物総量の70%削減を達成しました。省エネ活動については、従業員

一丸となり工場、家庭での身近な省エネ活動を推進するほか、工場内設備の省電力タイプの導入、更新を行い地球温暖化防止への取り組みを活発に行っています。「YOKOHAMA千年の杜」プロジェクト活動も、今年度すでに第6期を計画し、さらなる杜の拡大を図るとともに、地域コミュニケーションとしても地域への「杜」の活動拡大を推進していきたいと計画しております。また、今年6月からは生物多様性保全活動の調査を開始。大島川や天竜川の植生や生物の調査を行い保全活動につなげます。今年で2回目になる岩手県大槌町で開催される横浜ゴム主催の「平成の杜」植樹会には長野工場から3人がボランティア参加しました。毎年開催される地域を流れる天竜川河川清掃(環境ピクニック)には区割責任者として積極的に参加しています。また、「中高校生の職場体験学習」を体験する中から、当社の環境保全活動の取り組みを理解いただく機会を設けています。地域コミュニケーション活動をさらに充実させていきます。地域の皆さまと共に従業員や従業員家族が一丸となってトップレベルの環境貢献企業を目指していく所存です。

## 安全健康な職場環境

### 従業員の教育・訓練

防災訓練を2012年11月16・20・26日に実施し、合計208人が参加しました。

また、普通救命講習会を2012年10月～12月の間に3回開催し、新たに15人が資格を取得しました。



従業員による消火栓放水訓練



普通救命講習会

## 環境経営の推進

### 環境方針

経営方針に示された「社会に対する公平さと環境との調和を大切にする」を規範としてトップレベルの環境貢献事業所になります。

- (1) 長野工場は、生産から廃棄に至るあらゆる段階で環境負荷の低減に取り組めます。
- (2) 信頼される工場として、環境汚染・感覚公害の予防を図り環境改善を継続的に推進します。
- (3) 地球温暖化防止、省エネルギー、省資源、資源循環により循環型社会及び低炭素型社会の実現に取り組めます。
- (4) 当工場に関連する、法規制及び協定等を遵守し継続的に環境保全活動に取り組めます。
- (5) 当工場の環境方針を具現化するため環境目的・目標を設定し、計画を作成し実行します。
- (6) 工場の全従業員及び構成員が本環境方針を理解し行動するよう教育と啓発を行い周知を図ります。
- (7) 地域とのコミュニケーションをはかり、「YOKOHAMA 千年の杜」活動を含め、地域に貢献する活動を進めます。
- (8) 生物多様性の保全として「大島川及び天竜川流域」のかけがえのない自然保護・再生に取り組めます。
- (9) 本方針は、一般の人からの要求に応じ公表します。

環境負荷の軽減

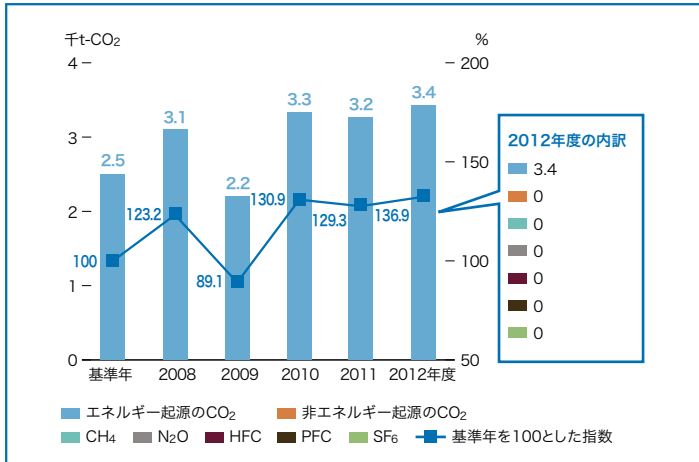
金属屑をブリケット化する設備の導入（2012年7月）により製品として販売を開始しました。その結果、産業廃棄物発生量を月当たり約70%削減しました。



環境データ

■温室効果ガス排出量の削減

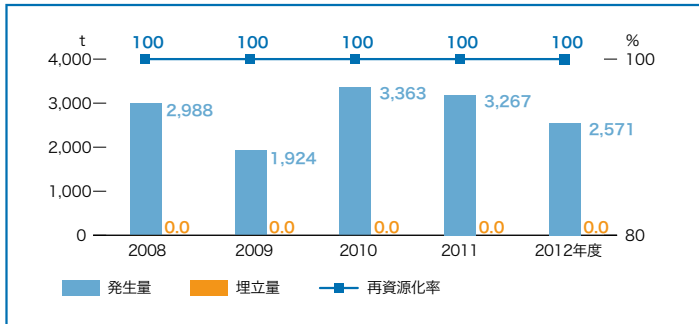
総温室効果ガス排出量と基準年を100とした指数



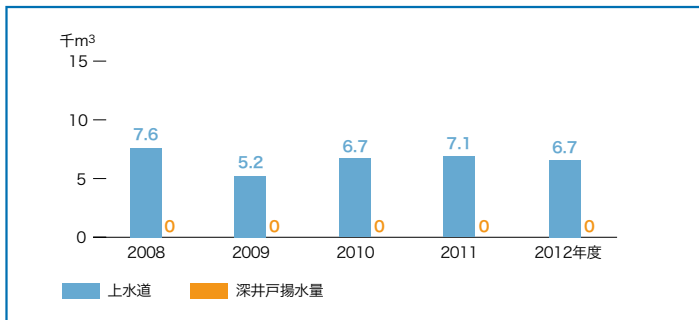
※基準年：1990年を原則としていますが、京都議定書に準じてHFC、PFC、SF6は1995年としています。  
 ※温室効果ガス(GHG)の算定方法：環境省・経済産業省発行の「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル」に準拠しています。  
 なお、2009年度の電力購入からのGHG算定は、環境大臣公表の契約電力会社別実排出係数を使用しています。  
 ※2011年度は決算期が4-12月となりましたので、2011年1-3月データを重複させて1-12月で集計しています。

■資源の有効活用／廃棄物の削減

・廃棄物データ



・水使用量



■水・大気・土壌への排出対策

・水質汚濁にかかわるデータ

項目	規制値	自主管理値	2012年度実績		
			平均値	最大値	最小値
PH	5.8~8.6	-	6.5	6.8	6.2
BOD濃度 (mg/l)	160	21	15.5	20.0	11
COD濃度 (mg/l)	160	22	11.8	14	9.6
SS濃度 (mg/l)	200	-	19.0	23.0	15
油分濃度 (mg/l)	5	-	2.0	3.3	0.7

※法規制対象外(自主管理測定、2回以上/年)  
 ※規制値は長野県条例  
 ※2011年度実績値は2011年1月~2011年12月。  
 ※排水先 大島川

## 消費者とのコミュニケーション

### 工場見学の受け入れ

職業安定協会が主催する工場見学会を開催し、地元高校生や近隣の知的障がい者施設の子どもの工場見学を受け入れ、地元根付いた環境活動など企業活動を説明しました。

### 交通安全教室への参加

地元小学校の交通安全教室に参加し、子どもたちの安全意識を育てました。



地元小学校交通安全教室に参加

### 障がい者短期トレーニングの受け入れ

飯田公共職業安定所および飯伊圏域障害者総合支援センターの依頼を受けて、障がい者の2人の短期トレーニング（職場実習）を受け入れました。また、地元高校からの現場実習生を受け入れ、将来の工場の担い手を育成しました。

苦情等の情報はありません。

### 地域とのかかわり

工場が立地する地元の花火2大会と獅子舞のお祭りへ協賛しました。中でも市田灯籠流し花火大会は有名で5万人を超える人が訪れ、夜空に美しく咲く華に歓声が上がりました。また、近郊の飯田市主催の夏祭り「りんごん」にも踊り手として従業員が参加し祭りを盛り上げました。

### 家族ふれあい祭り

従業員と家族を対象に取り組みとして「潮干狩りバスツアー」を企画し、楽しいひと時を過ごしました。再度開催の要望が多く恒例行事として取り組むことにしました。



家族ふれあい潮干狩り

### 清掃活動への参加

(財)長野県テクノ財団が主催する天竜川水系の清掃活動「天竜川環境ピクニック」には、区割責任会社として従業員が参加しました。



2012年5月20日 天竜川水系環境ピクニック

### 「愛の献血」に協力

「愛の献血」に多くの従業員（35%）が協力しました。新入社員は初めての献血に、「これで世の中に貢献できる」と痛みと不安で悲痛な顔をしながらも喜びの声でした。



愛の献血（バス）



愛の献血（新人）

### 地域のスポーツ大会への参加

「労福協ソフトバレーボール大会」に元気あふれる若い従業員が参加し、地元の企業との交流を深めました。



## ステークホルダーコミュニケーション

### ボランティア活動に参加

地域の産業祭りには知的障がい者施設の子どもたちと一緒に、施設の子どもたちによる手作り野菜や小物の販売の手伝いをしました。どれも大変な好評ですぐに売り切れました。秋には工場食堂で施設の子どもたちによる手作り野菜や小物の販売会を開きました。子どもたち自らが販売活動を行い、人とのかわりによる社会勉強の手助けができたと思います。また、年末の寒い中、街頭募金にも協力しました。



知的障害者施設産業祭りのお手伝い  
(ゆるキャラ だんきゅうくと)



知的障がい者施設生産品社内販売受入

### 地域ぐるみ環境の取り組みに参加

全国グリーンウエーブに参加。また、「昼も夜も節電ライトダウン2012」を実施。同時に「さわやか信州省エネ大作戦」に取り組みました。3年継続してペットボトルのキャップを回収し、飯田市地球温暖化対策課を通し、世界の子どもを救う活動をしています。

### 地域自治会組織会合への参加

地域の自治会組織にあたる「隣組」の会合に年2回参加しました。また、工場が隣接する土地のいざらい（水路のごみ掃除）を行い、災害防止に役立ちました。



豊丘倉庫井洗い



## コーポレートガバナンスとコンプライアンス

### コンプライアンス教育の実施

職制を対象としたコンプライアンス教育を実施しました。